

第18回北関東炎症性腸疾患研究会

日本医師会生涯教育講座2単位

【カリキュラムコード： 2. 継続的な学習と臨床能力の保持、50. 吐血・下血、53. 腹痛、73. 慢性疾患・複合疾患の管理】

【日時】 平成28年2月12日(金) 18:30～20:50

【会場】 群馬ロイヤルホテル 9F ガーデニア

前橋市大手町1-9-7 TEL 027(223)6111

当日、受付にて参加費500円を申し受けます

【製品紹介】 18:30～18:45

潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤 「ペンタサ」 杏林製薬(株)

【開会の辞】

当番世話人 群馬大学大学院医学系研究科 小児科学 石毛 崇 先生

【一般演題】 18:50～19:50

座長 富澤 琢 先生(群馬大学医学部附属病院 光学医療診療部)

1. 『 当院における難治性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムス投与症例の検討 』

伊勢崎市民病院 内科 診療部長 増尾 貴成先生

2. 『 当院の潰瘍性大腸炎に対するメサラジン坐剤の使用経験 』

公立富岡総合病院 消化器科医長 岩本 敦夫先生

3. 『 当院における原発性免疫不全症に伴う腸炎の診療経験 』

群馬大学大学院医学系研究科 小児科学 関根 和彦先生

4. 『 当科における潰瘍性大腸炎の外科的治療経験 』

群馬大学大学院医学系研究科 病態総合外科学 大曾根 勝也先生

【特別講演】 19:50～20:50

座長 石毛 崇 先生(群馬大学大学院医学系研究科 小児科学)

『炎症性腸疾患の病態と腸内細菌の関わり』

滋賀医科大学 消化器内科 教授

安藤 朗 先生

【閉会の辞】

次担当番世話人 群馬大学医学部附属病院 光学医療診療部 富澤 琢 先生

* 終了後、情報交換会を予定いたしております。

共催：北関東炎症性腸疾患研究会

群馬県医師会

群馬大学医師会

杏林製薬株式会社